

Yu Kosuge Beethoven Piano Sonata Cycle Vol.1

小菅 優

ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ 全曲演奏会シリーズ 第1回

2010年

10月21日(木) 19:00開演
いずみホール (18:30 開場)

Thursday, October 21, 2010 at 7 p.m. Izumi Hall

全指定席 ¥5,000

主催: いずみホール【財団法人住友生命社会福祉事業団】
KAJIMOTO

協賛: 住友生命保険相互会社

協力: コジマ・コンサートマネジメント

10月27日(水) 19:00開演
紀尾井ホール (18:30 開場)

Wednesday, October 27, 2010 at 7 p.m. Kioi Hall

全指定席 ¥5,000

主催: KAJIMOTO

ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ 全曲演奏会シリーズ 次回以降のプログラム(予定)

- 第2回
ピアノ・ソナタ第16番/第17番「テンペスト」
第18番/第28番
- 第3回
ピアノ・ソナタ第9番/第10番/第24番「テレーゼ」
第27番/第13番/第14番「月光」
- 第4回
ピアノ・ソナタ第25番/第15番「田園」
第21番「ワルトシュタイン」
- 第5回
ピアノ・ソナタ第19番/第20番
第12番/第26番「告別」/第4番
- 第6回
ピアノ・ソナタ第5番/第6番
第7番/第29番「ハンマクラヴィア」
- 第7回
ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」/第22番
第11番/第23番「熱情」
- 第8回
ピアノ・ソナタ第30番/第31番/第32番

ピアノ・ソナタ第1番 へ短調 op.2-1

Piano Sonata No.1 in F minor op.2-1

ピアノ・ソナタ第2番 イ長調 op.2-2

Piano Sonata No.2 in A major op.2-2

ピアノ・ソナタ第3番 ハ長調 op.2-3

Piano Sonata No.3 in C major op.2-3

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

カジモト・イープラス

検索

<http://kajimotoeplus.com/>

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご利用いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 108-067[大阪公演のみ]/108-068[東京公演のみ])

e+(イープラス) <http://eplus.jp/> CNプレイガイド 0570-08-9990 ローソンチケット 0570-000-407

いずみホールチケットセンター[大阪公演のみ] 06-6944-1188 紀尾井ホールチケットセンター[東京公演のみ] 03-3237-0061

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。
NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。



大阪公演 | いずみホールフレンズ優先発売: 5月28日(金)10:00~
(10/21) | 一般発売: 6月4日(金)10:00~

カジモト・イープラス

東京公演 | カジモト・イープラス会員限定先行受付: 5月20日(木)12:00~5月23日(日)18:00
(10/27) | 一般発売: 5月30日(日)10:00~

Yu Kosuge Beethoven Piano Sonata Cycle

ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ全曲演奏会シリーズによせて

小菅 優

今回の企画は私の個人的な目標を達成するだけではなく、ベートーヴェンに親しめなかった人たち、またベートーヴェンの名曲しか知らなかった人たちにもっと彼の音楽をわかっていただきたいという目的があります。特に若い人たちを対象にしたプロジェクトにしたいと思っています。渋いと思われてしまうベートーヴェンの曲を、まだ20代の私がどれだけ彼の音楽に惚れこみ、どんな魅力にあふれているかを8公演にわたって伝えたいと思うのです。

ベートーヴェンの32のソナタはほぼ彼の生涯(24歳で書いたop. 2から52歳で書いたop. 111まで)にわたっています。私は絵画が好きですが、昔ピカソの一つの絵を見てもよく理解できず何がしたいのかなと頭が「？」マークでいっぱいになったことをよく覚えています。しかしパリのピカソ美術館に行って彼の初期の作品から晩年までを辿っていくと、こういう成長と人生経験を通して、たとえばキュービクな絵になってきたんだなとやっとな得することができました。カンディンスキーにも同じことが言えます。

ベートーヴェンにも成長と変化の過程があるからこそ面白いのです。彼は他の作曲家と比べても人間味の強い作曲家だと思います。彼の楽譜は思いつきのようにきれいに書かれたモーツァルトの楽譜と違って、線やメモなどでぐちゃぐちゃです。

初期の、ハイドンのために書かれた3つのソナタop. 2は若い人にぴったりの純粋さ、単純さとユーモアに溢れていて、私の特に好きな3曲です。しかしそれ以降も幻想曲風ソナタで語られる身分の差のため実らなかった恋、耳がすこしばつ聴こえなくなり苦悩の毎日ははてにハイリゲンシュタットで自殺を決意し、そして立ち直った後のop. 31のソナタ、文学に詳しくなかった彼の「テンペスト」におけるシェイクスピアの哲学的解釈、ロマン派への変わり目を感じさせる「熱情ソナタ」、ピアノという楽器の限界まで達する「ハンマークラヴィア」のオーケストラのような構成と響き、最後のソナタの天国へ舞っているような神秘と熟練まで、ひとつひとつのソナタに多彩なストーリーが待ち受けています。ですからこの中からどれかを選ぶことは難しいです。たとえば小説の分野でも「青春の門」の堕落篇だけ読んで筑豊篇と自立篇を読まないでいられるでしょうか。

戦乱のウィーンを体験した彼は、ピアノ・コンチェルト「皇帝」の中で、戦後の新しい世の中への希望を訴えています。「苦悩を突き抜け、歓喜に至れ」と言っていた彼の、常に絶望を経験していたにも関わらず、肯定的で勇敢な姿勢に私は尊敬の意を感じます。私の世代は皆戦争を経験しておらず時代に比べて幸せな社会で暮らしているかもしれません。しかし、却ってコンピュータなどに支配されている今の世界は表面的になりつつあります。見えるものだけに興味が向いてきているこの世界、音楽のような見えないものを感じるこそ大切だと、私は思います。

最近音楽を含めた文化に対して世の中の理解が減っている中、ラジオやテレビでもクラシックをポピュラーにしようと名曲ソナタの有名な楽章しか放送しなくなってきましたが、ベートーヴェンの本来の作品全体に触れないことはとても残念なことだと思います。それはベートーヴェンが意図したことはありませんし、ひとつひとつの曲は全楽章、又は全曲集を聴くことによって、人間の心のより深いところを理解することができるのではないのでしょうか。

最近このようなことを私はよく考え、今すぐ人々に訴えないと、思うのです。ベートーヴェンは、「音楽はあらゆる知恵や哲学よりも高度な啓示である」と言っていますが、私はベートーヴェンの音楽の伝達者として、この世代の一人の音楽家として、彼の哲学的な疑問をお客様と一緒に考え、彼の「ピアノ・ソナタ」という生涯に渡って書き続けた傑作を心から楽しみたいと思っています。



©Steffen Jänicke

Profile 小菅 優 (ピアノ) Yu Kosuge, Piano

高度なテクニックと美しい音色、若々しい感性と深い楽曲理解で、ヨーロッパでも最も注目を浴びている若手ピアニストの一人。2000年ドイツ最大の音楽批評誌「フォノ・フォルム」よりショパンの練習曲全曲録音に5つ星が与えられた。これまでにベルリン響、フランクフルト放送響、ハンブルク北ドイツ放送響、サンクトペテルブルク響、フランス国立放送響、フィンランド放送響等と、指揮者ではデュトワ、アルブレヒト、ドミトリエフ、オラモ、ヴァンスカラと共演。05年カーネギー・ホール、翌06年にはザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー(日本人では内田光子以来2人目となる)を行う。08年ノリントン指揮シュトゥットガルト

放送響日本ツアーに出演、N響定期ではタン・ドゥンのピアノ協奏曲「ファイア」を作曲家自身の指揮で日本初演した。09年には水戸室内管定期演奏会で小澤征爾と再び共演、大植英次指揮ハノーファー北ドイツ放送フィルとの日本ツアーも行った。室内楽ではこれまでにライスター、メイエ、タメスティらと共演している。

ほかにもラインガウ、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、サイトウ・キネン等各地の国際音楽祭に出演、着実に活躍の場を広げている。録音はソニーより最新盤「メンデルスゾーン:ピアノ協奏曲第1番」まで9枚のCDをリリースしている。